

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	商学部	身分	教授
氏名	大沼 宏		
NAME	Hiroshi Ohnuma		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

監査報酬と税務負担削減行動の関連性～監査リスクとの関係を中心に～

---

2. 研究期間

2020・2021・2022年度 ※2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

---

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

背景：税務負担削減行動に関する研究は、2000年代に入ってから欧米を中心に盛んになってきていた。ただ、租税負担削減行動は企業の評判や事業活動などをスムーズに進めたいときのリスクとなり得るとの指摘があり、このことから、租税負担削減行動は企業リスクとなるかを分析することが求められていた。

目的：監査を行う上で考慮しなければならないリスクが増加していると考えられる。こうした環境下において、財務諸表監査を行う監査法人への監査報酬が何によって決定するか検討する余地はあると考える。本研究は、監査報酬の決定因について考察する中で、企業の監査リスクについて検証を行う。

研究計画：税負担削減行動と監査報酬の関係についての仮説を設定してから、分析を進め、学会報告を実施した後、雑誌への投稿を行う。続いて雑誌へ投稿した研究を更に精緻化する。今後の計画であるが、新たな検証内容を加えて、続いて海外学会への参加と海外ジャーナルへの投稿を計画している。

内容：分析の結果、租税負担削減行動に積極的な企業は監査報酬が高まり、かつ税務リスクの高い企業も監査報酬が高まることを示す。連結納税制度を採用する企業は組織改革などを推し進める傾向が高いことから、組織再編を起因とした情報効率性の向上や内部統制の整備が進むと予想され、連結納税制度を導入する企業ほど実効税率を高めても監査報酬は下がると予想された。ところが、分析結果からは、連結納税制度導入ダミーとの交差項は統計的にプラスに有意となった。このことから、連結納税制度を導入する企業は、監査の複雑性が増して、結果的に監査報酬も上昇する、と推測される。つまり、連結納税制度を導入している企業ほど税務に関するリスクは高まると推定される。

成果：租税負担削減行動に積極的な企業ほど、基本的に監査リスクが高く監査複雑性が上昇することから、監査報酬はそれに伴って高まる。租税負担削減行動に積極的な企業ほど実効税率の変動性が高まる、いわゆる税務リスクが高まることから、税務リスクの高い企業ほど監査リスクが同様に高まるので監査報酬も連動して高まると予想して、分析を行った。これについてはある程度有意な結果が得られた。税務リスクの高い企業ほど監査報酬は高い。

(英文)

The results of the analysis indicate that audit fees will increase for firms that are more aggressive in reducing their tax burden, and that audit fees will also increase for firms with higher tax risk. Since firms that adopt a consolidated tax payment system are more likely to promote organizational reforms, it is expected that firms will improve information efficiency and internal control systems because of organizational restructuring, and it is expected that audit fees will decrease even if the effective tax rate is increased for firms that adopt a consolidated tax payment system. However, the results of the analysis showed that the cross term with the dummy for the introduction of a consolidated tax system was statistically significant in the positive direction. From this result, it can be inferred that audit complexity increases for firms that introduce a consolidated tax system, and as a result, audit fees also increase. In other words, it is assumed that the more a company adopts a consolidated tax system, the higher its tax-related risk is estimated to be.